

気になる子の理解と支援

～グレーゾーンと言われる子どもたち～

希望していた保育士になり、かわいらしいしぐさや優しい気持ちを感じると同時に、集団保育の難しさも感じておられるのではないかと思います。個で関わるときには特に問題を感じないのに、集団では問題行動がよく見られる子、今のままで小学校にいったら大丈夫かなと不安を感じる子、などいろいろおられるのではないのでしょうか。

学生時代に学んできた年齢ごとの発達の基準を意識しながら、「ゆっくり」なのか「ズレ」なのか「障がい」なのか、また「個性」なのか「障がい」なのか、さらに、気になる子どもたちをひとりひとりの発達の個人差としてどこまでとめていったらいいのか、などさまざまな角度から子どもたちの理解を深める一助となれば、と考えています。

- 【1】 さまざまな子どもたちの気になる様子
- 【2】 発達の課題について
- 【3】 子どもへの具体的な関わり方
- 【4】 保護者の考え方
- 【5】 就学までに子どもたちに身につけてもらいたいこと
- 【6】 保育者の役割
- 【7】 子どもの未来のために